

議会最終日の9月26日に「館山市立小学校設置条例の一部を改正する条例」が可決され、その際、対象校の船形小、那古小、房南小、神余小の代表児童が傍聴席から、そして在校の児童もYouTubeのライブ中継で新たな校名決定の瞬間に立ち合いました。自分たちの新たな学校名が決まる場面を見るという貴重な経験と共に、将来の主権者として、地方自治に触れる良い機会になったのではないのでしょうか？



令和7年9月度 一般通告質問 より

館山市耐震改修促進計画について

本市の位置する房総半島は南海トラフ地震、首都直下地震、房総半島沖地震がいつ起きても不思議ではない状況下にあることを忘れてはならないと思います。

能登半島地震では約8000棟の家屋が倒壊し死者228人のうち約4割が圧死、2割が窒息呼吸不全で、倒壊した建物の下敷きになったことが原因の死が6割にも上っています。

そこで住宅や特定建築物の耐震改修促進に対する本市の取り組みを質問しました。

Q1. 令和7年3月時点での住宅と特定建築物の耐震化率と目標達成に対する評価を伺います。

A. 住宅の耐震化率は79%、多数の人が利用する民間の特定建築物の耐震化率は87%です。

住宅については16%、特定建築物については10%向上しましたが、計画の目標値95%には届いていません。

Q2. 目標達成に向けた今後の取り組み内容について伺います。

A. 耐震診断や改修について千葉県建築士事務所協会安房支部と連携した年5回の無料相談会を今後も開催していきます。耐震診断費用は市として助成を行っています。

Q3. 耐震改修費用に対する補助制度を設ける予定はないか伺います。

A. 現在、補助制度の設計について検討を進めています。

所感：国と県の財政支援を利用した耐震改修に対する市町村の補助制度は、県内54自治体中52自治体が実施していることから分かるように、住宅の耐震化を促進するに有効性の高いものと言えます。市民の命と安全を守る最優先事項として、耐震化の啓発と耐震改修補助制度の実施を要望しました。



鈴木 明子 公式 LINE
是非ご登録下さい！

